

子どもたちの「おもしろいを形に！」を 長野のモノづくりの未来につなげたい

～子どもたちの学びの場を、地域で支えるプラットフォーム～

Nagano Tech Style Lab とは？

- ・ **対象**：長野県の中学生・高校生
 - ・ **内容**：ロボット、電子工作、プログラミング、IT・AI、デザイン、データ活用
 - ・ **目的**：将来の技術人材・関係人口を地域で育てる
 - ・ **特徴**：現役教員・大学教員・専門家が指導
 - ・ **企業メリット**：地域貢献 × 将来人材との早期接点
 - ・ **支援方法**：年会費制の賛助会員（法人 20 万円～）
-

■社会背景 2030 年、労働力不足が深刻になります

2030 年を境に、日本全体で若い世代の人数がさらに減り、働き手不足が一気に進むと予測されています。とくに製造業では、現場部門（生産現場）間接部門（生産管理・品質管理・情報システム・総務経理労務など）の職種で人材が不足します。その不足の一部を

- ・ IT・テック（ソフトウェア・クラウド・ネットワーク技術など）
- ・ メカトロニクス（機械電気・制御・ロボット）
- ・ データサイエンス・情報分析

といった IT テクノロジーで補う必要があります。人の数が減っても、IT デジタルで作業を効率化すれば少ない人数で仕事ができます。同時に、工場や会社の IT 環境を守るサイバーセキュリティの知識を持った人材も必要です。それには、子どもの頃から、IT・メカトロニクス・テックの技術に触れて興味の芽を育て、モノづくり人材の裾野を広げる必要があります。名付けて「ながのテック人材バレー」構想です。

2030 年に中学校の学習指導要領が改定されます。今の技術・家庭科の技術分野は「情報・技術科（仮称）」となり、情報技術を基盤とした内容に再編される方向が予定されています。「情報分野の IT・AI・データ」と「手を動かすものづくり」を学ぶ時代がやってきます。学校の外で興味を拡張できる場を作つておきます。

■具体的に何をするの？

Nagano Tech Style Lab が提供すること 技術・ものづくりの地域クラブの運営支援と直営

- ・ ロボット製作・電子工作・プログラミング
- ・ 3D プリンタや工具を使ったプロダクトづくり
- ・ センサーマイコンを使った簡単な IoT 体験
- ・ 省燃費自動車、EV の設計・製作

IT・データサイエンスの入口になる体験イベント

- ・ センサーマイコンを使った簡単な IoT 体験
- ・ 「データで考えるってどういうこと？」を知るミニワーク
- ・ 生産や品質のデータをイメージした、かんたんな分析体験

ワークショップや発表会

- ・ 週末や長期休みに開催する体験講座
- ・ 子どもたちの作品展示・発表会
- ・ 保護者や地域の方、企業の方も一緒に参加できる場づくり

企業・大学との連携プログラム

- ・ 工場見学 + 現場と間接部門（生産管理・ITなど）の仕事紹介
- ・ 自社製品・技術を題材にした「技術体験ワークショップ」
- ・ サイバーセキュリティ・データ活用の入門的な講座
- ・ 工場見学を通して地域の企業を知る

これらの活動は、現役の技術科教員・大学教授・高専教授・専門家が中心に指導します。

デザイン・知財の領域は女性の才能が活躍

モノづくりの周りには「いろんな仕事」があります。「モノづくり」というと、どうしても「機械が好きな男の子の世界」というイメージが残りがちです。ですが実際には

- ・ プロダクトデザイン・工業デザイン
- ・ WebスマートのUI/UX・サービスデザイン
- ・ 特許・意匠・商標を扱う「知財」

の領域があり、女性を含め、さまざまな才能が活躍できるフィールドが広がっています。

いろいろな入口を用意し、「自分にも合うかも」という気づきを増やします。

10年後、子どもたちはこんな人材に育ちます

- ・ 生産技術・機械・電気・制御エンジニア
- ・ 生産管理・品質保証・調達・物流のデータ活用人材
- ・ 社内SE・ITインフラ・DX推進担当・サイバーセキュリティ・ネットワーク担当
- ・ 工業・プロダクトデザイン、知財の専門人材

全員が地元に残る必要はありません。一度外に出て、U・Iターンで戻る人材も含め、「長野と関わり続ける人＝関係人口」を増やします。

「人的資本経営」に取り組む企業様は、投資対象を「プレ社会人（学生）」まで拡張！！

最近「人的資本経営」や「人的資本の情報開示」という言葉を耳にする機会が増えてきた方も多いかもしれません。人的資本経営とは「人をコストではなく、将来の価値を産み出す“資本”として しっかり育てていきましょう」という考え方です。

上場企業は情報開示が義務化されていますが、今後、中小企業でも取り組み始まっています。今の人、これからのに投資をする視点が求められています。

企業にとっての3つの価値

1. 将来人材との“超早期接点”づくり
2. 社員が誇れる地域貢献（エンゲージメント向上）
3. 人的資本経営・ESG文脈で語れる実績

👉 教育支援であり、同時に未来への投資です。

■資金支援のお願い

なぜ「会員としてのご支援」が必要なのか？

これまでの活動は、教員や専門家のボランティアで支えられてきました。

しかし、それでは 質と継続性を保つことができません。子どもたちのためには、専門性ある指導者、無理なく続く体制、安定した運営基盤が不可欠です。

会費はこんなふうに使われます

- 現役教員・大学教員・専門家・IT エンジニアなどへの謝金
- ロボット、電子部品、工具、3D プリンタ用フィラメントなどの教材・機材費の補助
- ノート PC・タブレット、センサー、ネットワーク機器など IT・データ系プログラムの環境整備の補助
- 会場費・保険料・運営スタッフなどの 運営費用
- 各地域での新規クラブ立ち上げ・学校との調整など、普及・コーディネートの費用

「子どもたちの学びと成長の場」のインフラと運用する費用で使わせていただきます。

■賛助会員制度のご案内 ※期間は年度単位（4月～翌3月）です。

区分	法人年会費	個人年会費	イメージ
ブロンズ	200,000 円	1 万円	地域貢献・教育支援の「まず一歩」
シルバー	300,000 円	3 万円	継続的な活動支援・複数クラブの応援
ゴールド	500,000 円	5 万円	中長期の人材育成パートナー
プラチナ	1,000,000 円	10 万円	事業全体のトップパートナー

法人賛助会員の主な特典

- Web サイト・パンフレット等での企業名・ロゴ掲載
- 活動レポート・イベント情報の共有（年次／半期レポート）
- 年次発表会への来賓ご招待
- 子どもたちの発表会・作品展示会へのご招待
- 教育・人材育成・地域連携などに関する情報や事例のご提供
- 御社の技術や仕事を題材に体験プログラム・職場体験・工場見学・インターンの企画
- 採用につながる接点づくりの相談

細かい関わり方は、法人様ごとにご相談調整しながら進めています。

「うちはあまり手をかけられないけど、静かに応援したい」

「社員にも関わってもらいたいながら、プログラムと一緒に作ってみたい」などご相談ください。

個人賛助会員の主な特典

- Web サイト・パンフレット等での個人名掲載（ご希望の場合）
- 活動レポート・イベント情報の共有（年次／半期レポート）
- 年次発表会への来賓ご招待
- 子どもたちの発表会・作品展示会へのご招待

代表理事のメッセージ

子どもたちが「これ、オモシロイ！」と目を輝かせる瞬間には、学びと成長のエネルギーが詰まっています。長野県はモノづくりの力で発展してきた地域です。

これからは、モノづくりに IT・AI・デザインが重なり、仕事の形もますます多様になります。学校だけでは、子どもたちに伝えきれない、育てきれない「仕事のおもしろさ」や「技術のおもしろさ」が、企業や地域の皆さんの中にはたくさんあります。

Nagano Tech Style Lab は、教員の指導力と地域企業のみなさんの技術や知見と、子どもたちの「オモシロイを形に！」を結びつけるプラットフォームでありたいと考えています。

ぜひ、法人賛助会員・個人賛助会員として資金面でお支えいただき、「モノづくり長野の未来」を一緒に育てていただければ嬉しいです。

一般社団法人 Nagano Tech Style Lab

代表理事 村松 浩幸（信州大学 教育学部 教授）

お問い合わせ・お申し込み

- 一般社団法人 Nagano Tech Style Lab
事務局：松本祐
所在地：〒380-0918 長野県長野市アーカス 9-14
電話：026-219-2197
E-mail：info@techstyle-lab.jp
- 問い合わせ：<https://techstyle-lab.jp/inquiry>
- ホームページ：<https://techstyle-lab.jp/>
- instagram: https://www.instagram.com/nagano_tech_style_lab/